日伯新聞
伯國聖市マエストロ・カルヴァリヨ街二二九
ヴエルダイヨ街（二二五八）
發行所日伯報社
本紙定價年六十〇
外國郵税共百三十〇

Sr. Kobayashi Midori
R. Galvão Bueno, 407

赤魔巣窟へ強壓

汪の一石・波紋擴大！
西北民心極度に動搖
反汪抗戰熱は完全に萎縮

（太原十一日同盟）最近當地に達した情報によれば昨年十二月初旬蔣介石、毛澤東、彭德懷を始め國共兩黨要人が西安に於て西北軍事會議を開催せる際、住民に對し西方への避難を勸誘これがため市民は非常な不安に捉はれ西安放棄の噂まで流布されるに至つたが、更に汪精衛の和平聲明の影響で人心更に動搖しつゝあり、これに驚愕せる西安の軍政各機關は民心の動搖離反を抑へるため、去る二日抗戰大講演會を開催し民衆の結束、反汪抗戰熱を煽らんとしたが民衆はこれに躍らず平常ならば萬餘の參加者あるのに今回は千人にも足らざる有樣であつた

惡辣な仕打に憤慨
共產軍と同志打ち
敗戰遊擊隊の不滿爆發

【太原十一日同盟】山西省北部に蟠居する敵は第八路軍第十八集團第百二十師の第三百五十八路又び第三百五十九路の共產軍並に自系殺の率ゐる晉山西軍系遊擊隊併せて約一萬餘名であるが、右のうち共產軍はさきに我が軍のためその根據地たる五台を討伐され、又近くは百二十師の本據雁縣十八集團第百二十師の第三百五十八路又び第三百五十九路武、軒崗鎮などを掃蕩され現在は主として五台北方の山地及び山麓の北村落に分散し、僅かに餘喘を保つてゐる狀態であり、又趙承綬軍も至るところで我が軍に擊破され四分五裂の狀態に陷つてゐるが、最近共產軍と趙承綬遊擊隊とは屢々同志討ちを繰返してゐる、この原因は狡猾な共產軍が專ら自軍保全のため抗日共同戰線の美名を藉りて趙承綬軍を利用し危險なる戰鬪は悉くこれに委せ一つには自軍を強化し一つには趙軍の勢力を失墜せしめんと圖つたことに起源するものであるが、早くもこの惡辣な關係を見てとつた趙軍は極度に憤慨前記の如く同志討ちまでなすので反目し合ふに至つたもので最近では兩軍の反目はますます著しくなつて來てゐる模樣である

汪精衛佛印を後に
近く香港へ乘込み
四圍の情勢愈よ新展開

【ハノイ十日同盟】汪精衛は四圍の情勢から判斷して近く佛印を去り一應香港に赴くのではないかと見られてゐる、彼は來越以來何人とも面會せず、目下各事件に彼と行動を共にしてゐる者は曾仲鳴、陳立夫、周佛海等であるといはれる

脚光裡の西北支那（一）
ソ聯の外藩・新疆
赤色一路迪化（ウルムチ）に通ず

こゝでいふ西北支那とは陝西、甘肅、青海、寧夏、新疆を指す、荒涼たるこの西北支那の五省が事變の鉾先にせり上り、わが陸の荒鷲が果敢な爆擊を行つてゐる所以のものはなんであるか？武漢失陷後の赤色支那が、殘る最後の「抗日の糧道」と恃むのがこの五省に跨る赤色ルートであるからである

抗日

蔣政權はこゝからソ聯の支援を受け、一方佛領インド支那及びビルマよりする西南支那への武器輸送路の必死の活用と相俟つて抗戰のあがきをつゞけようとしてゐる、而も西北支那を通る赤色ルートはたゞにソ聯よりする武器輸送路としてばかりではなしに第八路軍及び中國共產黨は西北支那にソヴエト區を建設し支那赤化の火の手をあげつゝあることと、ソ聯の支那赤化の本道であり前進基地であること、及びこのことが北支、蒙疆の新しき政治と新らしき建設の大なる障害となつてゐることに注目しなければならない、赤色ルートの詳細なる檢討が必要とされるゆえんである

支那

赤化の出發線はソ聯領中央アジアを通ずるトルクシブ鐵道であり、赤色支那進行の機關室は新疆省である、トルクシブ鐵道は一九三〇年四月第一次五ケ年計畫によつて開通したすなはちバイカル軍需工場地帶、ウラル工業地帶を結ぶシベリア鐵道ノヴオシビリスクより西北支那本土へ（伸びる赤い觸手である、滿洲事變後急速に西北支那開發を唱道した國民政府の政策は西安を中心として西北支那開發を施行從來の反日教育を根本から是正、幼年時代から新東亞精神に基く教育を行ふことゝなつたと傳へられる

新疆

の外緣に併行してゐるこの鐵道は必然新疆を足がかりとして西北支那さらに支那本土（伸びる赤い觸手である、滿洲事變後急速に西北支那開發を唱道した國民政府の政策は西安を中心として西北支那開發を施行從來の反日教育を根本から是正、幼年時代から新東亞精神に基く教育を行ふことゝなつたと傳へられる

支那

赤化の出發線はソ聯領中央アジアを通ずるトルクシブ鐵道であり、赤色支那進行の機關室は新疆省である、トルクシブ鐵道は一九三〇年四月第一次五ケ年計畫によつて開通したすなはちバイカル軍需工場地帶、ウラル工業地帶を結ぶシベリア鐵道ノヴオシビリスクより西北支那本土へ（伸びる赤い觸手である、滿洲事變後急速に西北支那開發を唱道した國民政府の政策は西安を中心として西北支那開發を施行從來の反日教育を根本から是正、幼年時代から新東亞精神に基く教育を行

新疆

の外緣に併行してゐるこの鐵道は必然新疆を足がかりとして

（一）シベリア鐵道ノヴオシビルスク—セミパラチンスク—セルギオポル—（以上鐵道）—塔城—迪化—（以上自動車道路）

（二）セルギオポル—アルマ・アタ（以上鐵道）伊犁—迪化—西安（以上自動車道路）

（三）アルマ・アタ—アンディジヤン（以上鐵道）—カシユガル—迪化—西安（以上自動車道路）

これによつて見ればトルクシブ鐵道のセルギオポル、アルマ・アタ、アンディジヤンの三大基點はそれぞれに新疆の首都迪化（ウルムチ）に連絡しそれよりさらに支那本土につゞいてゐることがわかる、そして新疆における赤色ルート導入の三大關門は塔城、伊犁、カシユガルの三都市であることもはつきりする、新疆はいふまでもなく西北支那とはいふものゝ完全にソ聯邦の外藩であり、第二の外蒙であることは周知の事實である、これら赤色ルートの基點都市を點檢してみると

塔城（たじやう）

トルクシブ鐵道のセルギオポルまで五百卅九支里、短時間の自動車連絡が出來る新疆西北部の國境都市で、一名タルバカダイともいふ最大の商業都市で武器輸送にはこの線路が最も頻繁に使はれてゐる模樣である、回教寺院、商店ソ聯領事館などがあり、住民はサルト人が多く宛然としてロシアの田舍町といふ趣をみせてゐる、人口三萬

伊犁（いりアルマ・アタまで自動車路及び伊犁河の舟運がある、この間の鐵道敷設計畫も急速に具體化してゐるらしい、伊犁の商業もかなり活潑で住民は滿洲人、支那人、東干人、ロシア移民アフガニスタン人、ボハリ人、インド人など雜多であるが、ここの驛逓にもソ聯領事館がある

カシユガル

トルクシブ鐵道アンディジヤンまでは平坦な自動車路があり、古來東西文明の接觸點として政治、經濟、歷史上に重要な都市漢城と四城にわかれ人口七萬、住民は纏回（トルコ族）のほか英、ソ聯人がをり、英ソの邊疆における角逐の本場である

赤色支那の關門都市は以上のやうに非常に支那色から遠ざかり、この間の鐵道敷設計畫も急速に具體化してゐるらしい、伊犁の商業もかなり活潑で住民は滿洲人、支那人、東干人、ロシア移民アフガニスタン人、ボハリ人、インド人など雜多であるが、ここの驛逓にもソ聯領事館がある

カシユガル

トルクシブ鐵道アンディジヤンまでは平坦な自動車路があり、古來東西文明の接觸點として政治、經濟、歷史上に重要な都市漢城と四城にわかれ人口七萬、住民は纏回（トルコ族）のほか英、ソ聯人がをり、英ソの邊疆における角逐の本場である

赤色支那の關門都市は以上のやうに非常に支那色から遠ざかり、この間の鐵道敷設計畫も急速に具體化してゐるらしい、伊犁の商業もかなり活潑で住民は滿洲人、支那人、東干人、ロシア移民

赤色ルート開發へ
國府、血眼の督勵
隴海線取外しを嚴令

【太原十一日同盟】支那側は蘭州、寶鷄、四川を通ずる赤色ルートによりソ聯より武器彈藥の補給を仰いでゐるが、現在の自動車による輸送ではその能力微々たる爲多數の土民を使役して豫ねより計畫中であつ寶成鐵道（寶鷄、成都間）敷設工事の完成を急いでをり、これが資材を隴海線各所より取外して寶鷄に拾集して隴海線鄭州、汜水間のレールを八日より向ふ十日以内に全部を撤去するやう期限付嚴令を發したと云はれる

ソ聯、援蔣を確約
正式調印に招請

【重慶十日UP】國民黨新聞の報するところによればソヴエット政府は九日蔣政權に對し次の如き場合援助を與へる旨約束してゐると傳へてゐる

一、國際聯盟が日本に對し軍事的制裁を與へる場合

二、英米佛を含む同盟國が支

陸鷲翼を連ね
大學重慶空襲
敵の心膽全く潰ゆ

【〇〇基地十日同盟】中支軍の發表によれば我陸軍航空隊は十日早朝大編隊群を以て第五次重慶空襲を敢行、敵軍事施設に大損害を與ふると共に九支里、短時間の自動車連絡が出來る新疆西北部の國境都市で、一名タルバカダイともいふ最大の商業都市で武器輸送にはこの線路が最も頻繁に使はれてゐる模樣である、回教寺院、商店ソ聯領事館などがあり、住民はサルト人が多く宛然としてロシアの田舍町といふ趣をみせてゐる、人口三萬

（いりアルマ・アタまで自動車路及び伊犁河の舟運がある、この間の鐵道敷設計畫も急速に具體化してゐるらしい、伊犁の商業もかなり活潑で住民は滿洲人、支那人、東干人、ロシア移民

日滿支鐵鋼增產
計畫愈よ具體化
代表者間の意見一致

【東京十一日同盟】鐵鋼聯盟の發表によれば我陸軍航空隊時歸還した、市上空は全く敵は十日早朝大編隊群を以て第五次重慶空襲を敢行、敵軍事施設に大損害を與ふると共に敵の心膽を寒縮せしめ午前九の片影なく防空機關も寂として聲無く僅かに四機が離陸迷避するを認めたのみであつた

【東京十一日同盟】特別委員會は十日工業倶樂部の閣議で正式決定せり、主なもの左の通り

岡山縣知事　萱場　軍藏
警視總監　土木局長　安藤狂四郎
警保局長　茨城縣知事　挾間　繁
土木局長　秋田縣知事　佐々木芳遠
厚生省大藤局長　木間　精
警保局長　岡山縣知事

地方長官異動

【東京十二日同盟】地方長官の異動は十日夜内定、十一日閣議で正式決定せり、主なもの左の通り

岡山縣知事　萱場　軍藏

國共一派の借欵說
絕對に之を許さず
聯合委員會聲明を發表

【北京十日同盟】中華民國新政府聯合委員會は國共一派と英米との借欵成立說に關し十日午後此借欵は斷じて許容し得ず、借欵の代償として國共一派よりの貨物輸送に對しては適當の措置を執らざる旨聲明を發表した、若しもこの借欵が現實化せる場合更に貿易統制其の他適當なる措置を考慮しることを闡明するものとして注目される

興亞精神發揚
北支に日本語
義務教育制度
臨時政府施行の運び

【東京八日H】北支臨時政府は今度北支各省に日本語の義務教育制を施行從來の反日教育を根本から是正、幼年時代から新東亞精神に基く教育を行ふことゝなつたと傳へられる

山西の殘匪掃蕩
實に三百六十一回
敵の遺棄死體七千八百

【太原十日同盟】我が各部隊の間斷なき肅清工作に山西各地に蠢動を續ける匪團は逐次其の影をひそめ省内の治安は今や全面的に確立するに至つた、而して昨年十二月一日以降廿日までに於ける省内殘匪掃蕩回數は總計三百六十一回、遭遇敵兵數七萬、敵の遺棄死體五千二百、これに吉縣攻擊に於ける敵の損害を合すれば遺棄死體のみでも七千八百に達してゐるべき赤色勢力の浸潤である

日伯漫談
須田町人

西洋人をおそれるなと師匠は云ふけれど、どうもあの大きな體で風采の堂々とした奴にかゝると、こつちが餘り小ッぽけなのでどうしても引ケ目を感すると、或お客さんがシミ〳〵とこぼして居ました、成程そりやそうでしやう、手前どもだつて

異人さんと

話をする時、先方はこつちを見おろし、こちらは先方を見上げなければ話の出來ないやうな場合があつて聊か癪ですが、かと云つて西洋人を恐れるなんてことはありませんよ、どうも日本人の體格の悪いのと面のまずいのとは親譲りなんですから、こればかりはどうにもなりません、御面相の方は差當りどうにもなりませんが、體格の方は改良しやうと思へばいくらも改良出來ますが、日本じやまだそれをやるだけの金がございません、御覽なさい此所生れの第二世といふのが概して體格が大きく、殊に娘ッ子の體格がよくて、ガニ股なんざあ殆んど見ませんや、これといふのが椅子生活で座居せないからです日本國民が座居生活から椅子生活に變るにや、現在の一人當り富力が倍にならぬと出來ません、一寸と遠い話です、何分體格が小さくて

御面相（がま）

すいと來すから、ケチな話ですが何かにつけてどれ位損をしてるか知れませんなあ、早い話がパイレでもあつた時、堂々たるエレガンテなマダムの胸に小さな色の餘り白くねえ男が寄り添つたなんざあ蟬が大樹に止つたみたいで風景よろしくありませんなあ、反對に相當

心臟の強い

女給でもカバレーなどで相手が美男子に過ぎると矢張り尻込みしますなあ、今でもやつてるかどうか知りませんが、昔は海軍士官と外交官は面の良いのでなければ採らなかつた時代がどわした、今ブラジルに來てなさる外務省の方はその條件の下に採用されたかどうか知りませんが、中にや可なり不細工な御面相をしたのも見受けます、多分レビューガールや活動俳優と同樣な採用條件はやめたのでしやう、男振りよくて金持でそれで女が惚れるならと歌の文句にもある通り、日本人の場合は、美男子でエラ者なんて滅多に居ませんなあ、その邊で頭をもちやげてるマカコペーリヨなどときたら、揃ひも揃つて醜男でしてなあ、流石の女給もお札と引換でなきや惚れられない代物ばかりでさあ、そういふ手前どもだつて高座にさらされる面じやどわせんがお客樣方からまだ

引ッ込めな

んて云はれねえものですからこうして圖々敷席を勁めて居ます、昔政界の大御所ビネイロ・マツシヤードが日本移民を入れることを承知した時、移民會社の代理人へ、だがブラジルの娘は日本人とは戀はせぬぜと冗談を云つたそうですが、體格と御面相の點じや日本人は

世界の水準

に達してねえのだから、どう云はれてもしやうがどわせん、だが此の風采の揚らないショボ〳〵した日本人が、得體の知れない怪力を持つてることを此頃になつて、どうやらブラジル人も解つて來始めたやうですなあ、西洋人を恐れるなんざあ愚なこと、これに對してヒケ目を感ずるなどもはしたないことでさあ

その邊の醜男衆シツカリしなせえ引立役はいくらも居ますよ、

チンタは
Pelikan
GUNTHER WAGNER LTD.
日本人總代理店 日伯社

品質の優
賣行の良
天下無敵
アルセニアツト
デ・シユンボ（砒酸鉛）
は信用あるヤマト印純日本
國產品をお求めあれ
御注文は五十キロ（一樽）以上
特約店
ヤマト產業株式會社
日伯社營業部

世は
コロムビア
時代——
蓄音器は
科學の粹を
一器に盛つ
た
二百十四號
Rs. 650$000

Columbia
戰場投ぶし
霧島昇
阿部武雄入社
第一回作曲
すばらしいセンセイションを
捲起した名曲です
これぞ新戰場に咽ぶ
詩曲！
レコード番號
二九九〇一
ドーコレアビムロン

第二の大戰必至

全歐洲爆發の導火線

佛伊の反目益々激化

民主國、全體主義國の對立

（ワシントン十日UP）駐佛、駐英米國大使は十日開かれた軍事會議に於て今夏前に歐洲に大戰亂の勃發は避けられぬものだと述べてゐる、即ちイタリーの植民地返還要求、又佛國はミュンヘン四國會談に不滿を抱き兩國間の反目が口火となつて結局英國も如何に表面的に和平工作を施そうとも戰爭に捲き込まれて終ふだろうとの觀測を下した、會議は全然秘密會議として行はれたものである

兩大使は更に夜に至りルーズベルト大統領、サンマー・ウエールズ國務次長と重要協議を行つたが同協議中國防問題に就き計畫、豫算特に空軍の增强が强調され、米國はドイツに比し空軍が劣勢にあるに鑑み可及的速にこれの擴張を圖り世界一空軍の偉容を整へねばならぬと述べた、現在のところ歐洲では英國の平和工作により佛英共に軍擴計畫は急速には行はれてゐないが、フランスは最早この上全體主義國家の要求を容れ又軍備に於て何時までも劣勢に甘んじてゐる樣なことはなく、英國はリーに立寄り佛政府と會談すべく外相は佛首相と會談二時間にして直ちにローマに直行した

【ロンドン十日同盟】チェンバレン英首相並びにハリファックス外相は十日ロンドン出發英伊會談のためローマ訪問の途に就いた、一行は途中パリに立寄り佛政府と會談すとゝならう、イタリー、ドイツの佛領植民地返還要求に對してフランスは今後決して讓歩せぬだらう、結局今夏までの歐洲情勢はフランスの採る態度如何によつて決定する譯だが、フランスは今後なほ獨伊の要求を容認することはないと見られるし、一方イタリー側でムッソリーニの對外政策が變更されぬ限り今夏前の歐洲戰爭は不可避のものとなろう、いざ戰端が開始されたとしたら英國は勿論自由主義國の立場から佛側に味方、ソヴェットも佛側につき全體主義國と對戰することゝならう現在の歐洲政局は來るべき大戰の下準備狀態にあると云ふ、英國方面でも最惡の場合が豫測され戰爭は最早時季の問題だと述べてゐる

ローマ訪問の途次

英首相パリー訪問

會談二時間、羅馬に向ふ

【ロンドン十日同盟】チェンバレン首相は十日午前十時五十分倫敦を出發したが、ブラットフォームより列車に乘り込む際に熱狂した群集中よりイタリーとの協調は心よしとせずとの意味の直訴があつたが

【パリ十日H】ローマ訪問の途パリに立ち寄つた英首相及び外相は佛首相と會談二時間にして直ちにローマに直行した

歐洲の心臟部縱斷

防共國家群が出現

洪牙利、滿洲國を承認

【ブダペスト十日H】ハンガリー政府は十日滿洲國總理張景惠宛に正式滿洲國承認の旨を打電した

【ローマ十日同盟】權威ある筋の觀測によればアルバニア、ユーゴスラビア及び改組後のチェッコスロバキアも遠からずハンガリーの例に追隨滿洲國を承認すると云はれ、歐洲の心臟部を縱斷して獨伊を中心に六ケ國の防共國家軍が出現するものと期待されてゐる

對日經濟制裁續り

米議會に賛否兩論

ボラー議員反對示す

【ワシントン十日UP】十日の上院に於てアイダホ州選出議員ウイリアム・ボラー氏はアメリカの對日經濟制裁に反對して次の如く述べてゐる

アメリカの軍人は戰場に出て戰ふよりも經濟制裁によつて起り得べき消費物の缺乏による婦女子の生命の危險を救はねばならぬ、經濟制裁は結局戰爭へ向ふ途だかゝる手段は全く戰爭が如何にしても避け得られぬ場合にのみ採るべきものだ

又これに對し反日家のビットマン議員は

婦女子の安全を保つためには空軍の擴張が必要だし、又乘船の際にも失業者群が首相身邊に殺到したが護衛警官にはさまれ事なきを得た

警官に遮られて果さなかつた

事變事務的處理は興亞院を中心に

板垣陸相、首相に建策

【東京十二日同盟】板垣陸相は近く平沼首相に對し前內閣時代に事變處理を五相會議中心としてゐたのを更改、今後は事務的處理は興亞院を中心として從來の五相會議には樞相各相等も加はり國內問題をも審議すべく希望する模樣である

外國傭船を返還

海運の自給自足

新造船續出のため

【東京十一日同盟】最近新造船の就航續出と海運統制の遂行その他の事情によつて一時緊張した近海の船腹自給關係は漸次緩和に向つたので、大藏省ではこの程國際貸借調整の見地から外國傭船の返還を

要望したが、現在外國傭船の自治聯盟加盟五社では（三井山下、國際、大同、川崎）十日これが處置を協議した結果政府の政策に協力するため手持外國傭船三、四十萬トンの解傭を行ふことに決定した、よつて今後契約滿期毎に外國傭船の返船が行はれることゝなり近く木邦海運の自給自足が實現するものと見られる

海水から無限の肥料

硫安の新製法完成す

國策線に「海國日本」の誇り

【東京發】農業日本に不可缺の肥料、しかもこの戰時下に年額廿萬トンを輸入に仰ぐ硫安がナント海水から採取出來るといふ世界の驚異である大發明が東京工大教授資源化學研究所長加藤與五郎博士と矢島亮一郎助手によつて完成、去る十八日日比谷電氣クラブで開かれた電氣化學協會秋季大講演會の午後の部で矢島助手の講演によつて發表された

博士の新發明を一口にいへば、肥料は空氣と海水から、といふもので、無限の存在を相手にするもので、海水から食鹽を製造するとしかも安價に無盡藏の海水からとれるとあつては四面環海の日本にとつては正に天來の福音だ、科學日本が世界に誇る大きな凱歌だ……

第一千六百三十三號

事務員招聘

一、可成夫婦者たること

一、成可夫人も事務の手援すけ出來得るものたること

優遇す

右希望の方は本月末までに申込れたし

昭和十四年一月十日

ブロミツソン青年聯盟郵便部

城本清

由緒は深き義烈莊

遠くは義貞、近くは孫文の帷幄の家

所有者が改築保存の快擧

【鎌倉十日同盟】蔣軍閥によつて歪められた國民政府が今氏の所有改築改修すること、なつた）この改築烈莊は元冠三年新田義貞が旗擧げの謀議を練つたところでありその後五百年を經た大正二年孫文が同志と共に日本に亡命中謀議を凝らしたのがこの

戰爭の場合赤十字社が婦女子に對する食糧その他の必要品を供給出來るから經濟制裁は是非共必要で、今後ルーズベルトの根本原則に從つて積極政策を採らなければならぬ、若し日本が在支權益の問題で現在の態度を改めなければ米國は日本絹布を買はず又た武器の對日輸出を禁止しなければならぬ、戰爭は結局避け得べからざるものだが日本は恐らく米國に對し攻擊的態度には出でないだらうと述べてゐる

廣東は復興一途

日支合辦の市內バス現はる

【廣東十一日同盟】廣東の復興に伴ひ日支合辦の市內バスが現はれることゝなつた、新バス會社は縣大公司及び杉原佐藤兩治安維持會委員が出資者代表となつて參加することになつて居り十三日頃正式調印を終り直ちに業務を開始する筈である

汎米會議米代表

ニューヨークに着く

ハル代表成果を語る

【ニューヨーク九日UP】舊國善隣の目的は充分達し得たハル米國第八回汎米會議を終へリマから歸國の途に就いたハル米國代表は九日紐育に入港のサンタマリア號で無事歸還したが汎米諸國の平和維持、他大陸からの侵略防衛に對して今後多大の役割を努めることになつたならうと述べてゐる

【ワシントン九日同盟】汎米會議出席のためリマ訪問中のハル國務長官は九日ワシントンに歸着した

リマ宣言は汎米諸國の平和維持、他大陸からの侵略防衛に對して今後多大の役割を努めることになつたならうと述べてゐる

【ワシントン九日同盟】汎米會議出席のためリマ訪問中の上陸第一歩にハル代表はリマ會議の成果を述べ米國の所期の目的たる汎米聯盟の結成までには到らなかつたが汎米諸

義烈莊の一室六疊の間で、續いて昭和六年には某氏がガンヂー派と呼應印度獨立を目指し立籠つたといふ重なる歷史的因緣を持つもので、所有者相馬愛藏氏は今や更生支那が本氣になつて孫文の遺業を繼ぎ東亞新秩序確立に參加せんとする際、日支兩國の精神的結合を圖る上にも是非ともこの義烈莊を永く保存しやうと思ひたちこの程大正大學の矢吹教授に依囑してこれが改築改修を行ふことゝなつたものである

策的なものだ、どん〳〵減少して行く硫化鐵鑛に代つて無限の海水から硫酸がいくらでも採れるのだからね現在日本內地の製鹽は四面海に圍まれてゐながらアフリカ鹽の一トン十圓とは太刀打ち出來ない高價で、競爭となれば彼等の安賣りに負けてしまふが僕のやり方で鹽から硫酸や炭マグ、金屬マグネシウムをどんどんとれればその方が遙かに高く賣れるから製鹽費はグングン安くなり、しまひにはただでやつてもよくなる、さらに貰ひ手がなくなればもう一ぺん海へ棄てることになるかも知れぬ何しろ支那の沿岸はいくらでも鹽が出來るのだからこれから先がたのしみだね」

在京各部隊華やかな入營風景

【東京十日同盟】在京各部隊の入營日、早朝から各兵營の前には父兄友人に送られた紋服又は青訓服の胸に赤い櫻のマークを付けた新兵さんの華やかな入營風景を展開したが靖國神社に近い近衛の各聯隊の入隊者には先づ護國の英靈に額いて一死報國を誓つた後繰込むもの多く、門衛や衛戍所の親切な案內を受けて營庭廣場に集合、人員點呼を受け始めるころには既に古參兵の散兵や銃劍術の訓練が始まり曇り空の嚴しい寒さの下でシャツ一枚の汗みどろな活躍委を遙かに見學、附添ひ人の中からは「ナカナカやるんだね家のもあんなになれますかしら」等々の言葉が洩れる、やがて指導者の引率により十時營舍に入つて種々の說明や訓話を聽いたり體格檢査を受けたりしながら、窓下に待ちながら中を覗き込むようにしてゐる父兄達に大丈夫だよ餘り見ると照れちもうなどの言葉を掛けるなど微笑ましい風景もあり、一日の內に一通りの兵隊學第一課を終へて新しい軍服に收まれば見違へるような頼母しい國家の干城が誕生するのであつた

謹告

左記により親睦會開催仕るべくに付き萬障御繰合せ御出席下されたし

一、場所　日本倶樂部

一、時日　一月十四日午後六時より

一、會費　十ミル

出席申込は十三日中に原商會或は西中菓子店に御通知を乞ふ

ブラジル廣島縣人會

廣島縣人各位

時代の要求する経済的な
アポロインキ
粉末

洋服の御註文は
寺本洋服店
聖市コンセレイロ フルタード街一五四

堀出物
三五年型
シエブロレー
貨物自動車三噸積（六車輪付）格安に讓る
詳細左記へ
日伯社
代理部

募集
植字　一名
文撰　二名
少年　十七八歳まで　五名
高給を支拂ふ、面談のこと
日伯新聞社

飜譯と法律事務
辯護士　カルロス・デ・モラエス・アンドラーデ
辯護士　ジョアキン・シルバ・ゾートラ
聖市ベンヂヤミン・コンスタンチン三四階二號室
公證飜譯人
杉山英雄
Caixa Postal, 2975
一般法律事務に就ての通辯、葡、西、伊、獨、佛、英及ラテン語飜譯

ELECTRA
O MELHOR RELOGIO SUISSO
UNICOS DEPOSITARIOS
JOALHARIA
CASA CASTRO
RUA 15 DE NOVEMBRO 41 ESQ. BENCHETTA
寶石商
カーザ・カストロ
總領事館、ブラジル拓植組合、海外興業會社、各地小學校并に運動團體より御買求めの榮を賜る

日本製優良
砒酸鉛
アルセニアット・デ・シユンポ
ブラスコツト各工場にて代理販賣致します
精々御用命の程を
御注文は五十キロ以上
日伯棉花代理部

大阪商船
發着廣告
日本へ
北米經由　りおでじゃねろ丸　一月十一日發　横濱着　二月三日
南阿經由　あらびあ丸　二月六日　横濱發　四月二日
ケープタウン　もんでびでお丸　神戸發　三月六日　神戸着　一月二日
ベノスアイレス　あらびあ丸　神戸發　二月五日　神戸着　二月五日
日本より
サントス　伯剌西爾大阪商船會社
(Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda.)
Rua Cidade do Toledo, 31 Santos
聖市　伯剌西爾大阪商船會社出張所
(Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.)
Filial de São Paulo
Rua da Quitanda, 82 São Paulo
リオ　Wilson Sons & Co. Ltd.
Avenida Rio Branco, 37
詳細は弊社は又は代理店へ記下

ブラジル廣島縣人會
廣島縣人各位
北パラナは
ピリアニットへ！
左記により親睦會開催仕るべくに付き萬障御繰合せ御出席下されたし
一、場所　日本倶樂部
一、時日　一月十四日午後六時より
一、會費　十ミル
出席申込は十三日中に原商會或は西中菓子店に御通知を乞ふ

サウーバ蟻のおらぬ恩惠地、テーラロシヤの沃土、生產多量の理想鄉、氣候良好交通至便のピリアニット賣却地は何れも驛から十キロ米突以內
御希望の方は地價の値上らぬうちに御視察下さい
日伯產業會社
Rua 11 de Agosto, N° 31 - Sala 18
C. Postal 3329 - S. Paulo
ピリアニット事務所主任　西村市助
郵便宛名　C. Postal, 50
E. Cornelio Procopio S.P.P

弊社地方代理人
▼北パラナ地方　桑原久次郎
▼ソロカバナ地方　齊藤欽作　池田源吾
▼パウリスタ延長線　藏力哲夫　小早川治人
▼ノロエステ線　上田留治　西川方郎
▼モヂアナ線　坂道太作　於保嘉六
▼パウリスタ線　遠藤清　鳥崎岩吉
▼アララクアラ線　西傳助　菅森彌之次

南米諸國の注視を浴び

A・B・U三國藏相會議

廿三日モンテビデオで開催

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

員リカルド・マツシヤード氏が出席する

來る廿三日にモンテビデオで開かれるアルゼンチン、ブラジル、ウルグワイ三國藏相會議は南米諸國各方面に多大の注目が拂はれようと述べてゐる、同會議に臨きソウザ・コスタ藏相はリマ會議同樣汎米主義に就て論議が行はれようと述べてゐる、藏相のモンテビデオ行には隨員として大藏長官房主事が同行する如く傳へられてゐるが、ブラジル銀行の技術專門家を伴ふのみだと、なほ藏相一行隨員の顏觸は未だ決定してゐないが十九日に出發の筈である、南大河州では今回の三國藏相會議に特に注目しオヴザーヴァとして前下院議

桑島大使着任第一聲

友好關係を一層增進したい

桑島主計新駐伯大使は去る九日午前七時入港の英船アストリア號で來伯、上陸第一歩を印した、伯國政府からは外務大臣代理、大使館からは天城代理大使以下の大使館員、中西武官、坂根總領事等多數日伯官民の出迎へを受けつゝ大使官邸に入つた、なほ面接の伯字記者に對し新任挨拶として次の如く述べた

親交國ブラジルに赴任して來たことを幸福に感ずる次第でこれは私の外交官生活に對する一つの特典であります、私はいろ〳〵の機會でブラジルを知り親しみ深いこの國と親切な國民とに接することは喜びとするところであります、日伯兩國間の親交は益々强化緊密化しつゝあるが、私としては出來るだけの努力を拂つて從來通りの傳統的友好關係をなほ一層强化し度いと思ふがそのため是非とも新聞の支援を仰ぎ度ひ、最後に私は新聞紙を通じ我が親愛なるブラジルの大國民に宜しく御傳へを願ひ度い

邦人花作り腕の冴え

亞國大統領杯を獲得

品評會で三ケ年間連續優勝

輝やく園藝日本！

【ブエノス・アイレス十一日同盟】期大會としてアルゼンチン園藝協會主催農務省後援の下に盛大に行はれ、開會式にはオルテイス大統領を始め、內山アルゼンチン公使其他同地在國人を壓倒して邦人國藝家が連續三ケ年優勝し、晴れの大統領杯を永久に獲得したとの報が十一日同地の羅問領事から外務省に齎らされ、今度の品評會は昨年九月廿八日から三日間一九三八年度春レ

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXV — São Paulo — 5.a feira, 12 de Janeiro de 1939 — Num. 1.603

«Tudo farei para honrar esta tradicional amizade entre japonezes e brasileiros»

As declarações do embaixador Kuwagima, novo representante diplomatico junto ao nosso governo

Pelo "Asturias" chegou, ao Rio, o sr. Kazue Kuwajima, novo embaixador do Japão no Brasil.

O illustre diplomata recebeu, ainda a bordo, os cumprimentos do representante do ministro das Relações Exteriores, diplomatas, jornalistas, etc.

A carreira diplomatica do embaixador Kuwajima

O novo embaixador japonez é formado em sciencias politicas pela Universidade de Waseda, tendo collado grau em 1906. Em 1911, por concurso, iniciou a carreira diplomatica, como agente consular em Mukden. Posteriormente serviu ainda, na qualidade de agente consular em Hankow, S. Francisco da California, Bombaim e, finalmente em Chicago. Em 1926 assumiu a chefia da secção da Directoria dos Assumptos Americanos e Europeus, no Ministerio do Exterior de seu paiz. Deixando essa directoria, foi nomeado, em 1924, primeiro secretario da embaixada em Washington, servindo depois como consul geral em Honolulu e Hankow. Em 1929 foi nomeado conselheiro da embaixada em Roma, de onde foi transferido um anno após, para Tien-Tsin, na qualidade de consul geral. Durante o periodo compreendido entre os annos de 1933 a 1936 occupou o alto cargo de director geral dos assumptos da Asia do Ministerio do Exterior, tendo alli trabalhado até janeiro de 1937, quando foi nomeado ministro na Hollanda. Deixando aquelle paiz, o illustre diplomata foi designado para vir ao Brasil afim de dirigir a missão diplomatica do Japão nesta capital.

Declarações á imprensa

Ainda a bordo, os jornalistas tiveram ensejo de trocar algumas palavras com o sr. Kazue Kuwagima, novo embaixador do Japão que, interrogado sobre suas primeiras impressões de nossa terra, respondeu:

Embaixador Kuwagima

"Foi para mim motivo de grande alegria, como o é agora de intensa felicidade, o momento em que recebia a noticia de que fôra designado pelo governo de meu paiz, para tomar rumo em direcção a esta linda e privilegiada terra á qual nos ligam os mais fortes laços de amizade e estima.

Se para servir á patria necessitamos de premios, não poderia eu ter alcançado maior. Teria dado, nesse caso, como compensado, todos os meus esforços, toda a energia empregada na minha carreira diplomatica".

E exclama, olhando a cidade: "Tenho uma grande admiração pelo Brasil, que conheço através das referencias obtidas em diversas circumstancias, e estou encantado de poder entrar em contacto com esta nação amiga e com seu povo hospitaleiro. As relações de amizade e de mutuo interesse que o Brasil mantem com a minha patria são relações que tenderam sempre a fortalecer e augmentar, graças á perfeita comprehensão dos homens de ambos os paizes. Tudo farei para honrar esta tradicional amizade entre brasileiros e japonezes e, para isso, quero contar desde já com o apoio indispensavel e sempre estimavel da imprensa".

—E poderia v. exa. ainda que a traços largos dizer qual o programma que já delineou, certamente, para esta sua nova e honrosa missão?—indagou um dos jornalistas presentes.

E o novo embaixador respondeu:

"Meu programma será a continuidade do programma dos antecessores: estreitar cada vez mais a amizade nippo-brasileira e as relações commerciaes entre o meu paiz e esta grande nação americana.

Intercambio não só commercial, mas scientifico, artistico e social, eis o que precisamos.

Neste paiz vivem milhares de japonezes que estão dando o seu trabalho e o seu amor á nova patria de adopção. Por isso, o Brasil é singularmente querido no Japão".

Finalizando a sua entrevista o sr. Kasue Kuwagima pronunciou estas palavras de saudação:

"No momento em que chego a este grande paiz é com o leal e enternecido prazer que desejo manifestar-lhe por meio da sua imprensa illustre, as minhas mais sinceras homenagens confiando nos destinos cada vez mais brilhantes deste nobre povo que se affirma, hora a hora, no conceito internacional como uma das maiores e mais progressivas nações do mundo".

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL
Por anno ..... 60$000
Por semestre ..... 30$000
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 120$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

A imprensa chineza e a proclamação do sr. Wang

Hong-Kong, 9 - Domei — Todos os jornaes de Hong-Kong silenciam quanto ao conteudo da communicação do sr. Wang dirigida ao general Chang-Kai-Chek. Mesmo quanto á proclamação publicada pelo sr. Wang os taes orgãos de imprensa guardam sigillo absoluto. Essa proclamação prova abertamente até que ponto já chegou o estado lamentavel do governo de Chang-Kai-Chek, tendo o seu conteudo grande importancia pratica.

Shanghai, 9 - Domei — A proclamação do dia 8, publicada pelo sr. Wang, pedindo o apoio de toda a população chineza teve uma grande repercussão nos circulos anti-nipponicos de Shanghai. Todos os jornaes da cidade publicaram na sua integra a proclamação em questão, não se podendo por ora tirar qualquer conclusão da influencia desse movimento. Parece que os jornaes expoem indirectamente ideas anti-Wang, mas nada de positivo pode-se affirmar visto não haver nenhum controle dos orgãos de imprensa, provando isto o silencio absoluto dos jornaes de Hong-Kong.

Curso Technico de Classificação de Algodão

Auctorizado pela Superintendencia da Educação Profissional
AULAS DIURNAS E NOCTURNAS
CAMPO EXPERIMENTAL EM BROOKLIN PAULISTA
DIPLOMA DE TECHNICO CLASSIFICADOR
Mensalidade 50$000 - Duração, 6 mezes
Inicio do Novo Curso, em 23 de Janeiro
Aulas tambem por correspondencia
Informações: Das 19 ás 22 horas
PRIMEIRA ESCOLA DE TECELAGEM
S. PAULO -- PIRATININGA, 263 (antigo 29)

O progresso da industria de automoveis no Japão

A industria de automoveis no Japão começou a desenvolver-se seriamente com a guerra da Mandchuria em 1932, quando o Exercito verificou a deficiencia de sua motorização. Em consequencia, a Dieta approvou a Lei de Fabricação de Automoveis, que limita o numero de autos que póde ser montado no Japão pela General Motors em 9.470 e pela Ford em 12.360. Como se sabe, essas duas companhias americanas têm officinas de montagem em Osaka e Yokohama respectivamente. Desconhece-se o numero de carros importados em 1937, mas as cifras de 1936 dão 30.997 unidades. De accordo com as limitações da alludida lei, as importações ficarão reduzidas a 21.000 unidades annualmente.

Em 1932, o Japão produzia 840 carros, dos quaes 144 do typo pequeno, Datsun, menor do que o Baby Ford. Em 1934 a producção nacional já apresentava um augmento de 359%.

Acontece, porém, que ao envez de crecer a proporção dos carros pesados — para caminhões —, foram os vehiculos pequenos que registraram os maiores progressos. Em 1934, a producção total era de 2.071, dos quaes apenas 1.321 omnibus e caminhões. Explica-se a preferencia pela fabricação de carros pequenos pelo facto da lei japoneza estabelecer uma determinada dimensão para um automovel. O Datsun não alcançava esse limite e assim não era considerado um automovel. Ninguem precisava ter licença para dirigil-o, nem era obrigado a guardal-o em garage.

O Japão, porém, aos automoveis de passeio está preferindo os carros pesados, que sirvam para a motorização do Exercito. A producção do typo Datsun começa a diminuir, embora ainda registre, para 1936, 6.324 unidades, num total de 9.632.

Foram tomadas providencias para augmentar a producção de carros pesados tanto aqui como no Mandchukuo, onde a Nissan está trabalhando por intermedio da Companhia Mangyo, officializada, em combinação com a Dowa.

A tendencia manifesta é para o Japão obter a auto-sufficiencia na industria de automoveis, affastando assim a Ford a General Motors. Se incluirmos os carros estrangeiros — Chevrolet e Ford —, aqui montados em 1936, teremos que nesse anno o Japão produziu cerca de 31.000 unidades. Graças ao programma de expansão dessa industria agora em aplicação, o Japão poderá, em breve, apresentar uma producção de mais de 100.000 carros.

Para que se tenha uma idea do que representa essa cifra basta que se saiba que em 1936 as statisticas internacionaes attribuiam a existencia no Brasil de 150.000 autos. O Japão, por essas estatisticas, contava apenas com 142.000 unidades.

E' interessante notar que a industria japoneza de fabricação de automoveis está preferindo os carburadores europeus, quasi sempre francezes, isso devido á necessidade de consumir pouca gazolina. Registram-se casos, em virtude do severo controle do consumo da essencia, de automoveis europeus usados serem vendidos aqui, ultimamente, pelo duplo do preço do custo quando novos.

O ensino da lingua japoneza na China do Norte

Tokio, 8 - Domei — O governo provisorio da China do Norte baixou hoje, um decreto tornando obrigatorio o ensino de lingua japoneza em todas as escolas primarias e secundarias, com o objectivo de preparar as futuras gerações francamente nippophilas.

血汐曼陀羅

(禁上映画化)

橋爪茂彦 作
木俣彌七 畫

【21】

お八重機變（五）

一方——

お八重は、危ない命の瀬戸際に立つた兄の房吉を救ひ出して、躍る胸、高鳴る血汐の響きを押えながら、茅場町の山王様の傍にある住居へ連れ戻つて來てゐた。

茶の間に坐つて、——ふるへる手で茶を出して——内弟子の十五六になるのを用を云ひつけて使ひに出すと、ほつと一度に溜めた呼吸をついた。

「兄さん！」

なんといふ、なつかしい言葉であらう。おゝ、七年この方、夢により會へなかつたこの兄に——今日は三尺とへだつてゐぬところに坐つて、はつきりとかう呼べるのである——夢かまぼろしか、このまま永劫にさめてくれるな！

お八重は、せきあげてくるうれし涙で瞳を曇らせながら

「兄さん……」

と、ふたゝび呼んで、

「なぜ、なぜ妾の家へは來てくれなかつたのです」

「す、すまねえ——」

と、房吉も挙骨で眼頭を押し拭つた。

「わたしアどんなに、どんなに兄さんのことを案じてゐたかしれないのに……」

一晩泊つて出て行つたきり龍五郎ともども居なくなつてしまつたんだよ——と、網源のお蓮から房吉の江戸入りを聞いたとき、初めは嘘か、かつがれるのかと思つたのだが本氣で氣を揉むお蓮の様子に幾日苦悶の日を過したことであつたか！

でも、その兄は、かうして自分の前に坐つてゐる。

何處へも遣らない、もう放しはしない！

あつちへ物が屆いた様子にいそいそと立つて膳をこしらへて、久しぶりでその膳に、無事を祝ふ心の銚子も添えて——

「兄さん、兄さんはたしか劍菱だつたわね」

と、茶の間の房吉に聲をかけた。

「酒か……」

房吉は、さうだ——といふかはりに眼をしばたゝいてゐた。

「さ、兄さん、久しぶりでお八重がお酌」

「すまねえなア——」

盃を受けて、ぐび——と咽喉を鳴らせると、膳のふちにかちりと置いて、

「お八重」

「え？」

と、眩しい様なお八重の眸

「隨分苦勞をしたらうな」

「さう——數へて見ると七年だわね。斯うして師匠の看板をあげるまでには、つらい思ひのお座敷も數のしきれないほど有つたらうよ、でもね、どうやら今では一本立ちで、暮して行けるやうになつたけれど」

「なアお八重」

「……？」

「お前ア一體これから一人でやつてゆく氣か？」

お八重は、ちよつと唇を笑はせて、

「ほゝゝゝ、兄さんお前……どう考へておくれだえ？」

「おいらア、考へと云つて……考へと云つて——」

房吉こゝでちよゝと間誤ついた（さうだ、お八重も年ごろだからもしや……？）

ふとさう思つたときお八重が、

「兄さん、お前が居なくなつて、もうこれ七年になるのだわね」

「そ、そ、その間、もしやお前にすきだ——と、思ふ様な男が有つたのぢやねえか？」

房吉は、これだけ云ふのがやつとだつた。

不思議なことには眼が撚る胸に、妖しい攻め鼓の響きがして、口のうちが、ねばつこい！

「兄さん——」

と、お八重は少し甘へてきた。

日本人助手 宮下義雄
トレド・ビーザ
ドットル
大・小手術、婦人病
産科、生殖器病
◉診療所並びに住宅
リンス市オラボピラツキ街
六二〇番 電話 一一五四

賣アルマゼン

雑貨店賣り度し、御希望の方は左記へ

Rua dos Estudantes, 399

外交員募集

一、夫婦者、壯健にして商才のある獨立人、委細面談

聖市ミゲール・イサヤ街三二
羽原宅
郵函二五三九

尋人

高知縣高岡郡高岡町大字林口
井上彦馬

有者現住所承知致度候に付本人又は御存知の向は至急當方宛に御一報相願度く候

マリア市興農園ピーラ日本人
森澤恒次郎
Caixa. E-6

Alliança da Bahia Capitalização

Capital: Subscripto 2.000:000$
Realizado 800:000$
Lgo. do Palacio, 3-A
Tel. 2-5782 e 2-7559
Caixa Postal, 2450
S. PAULO

十二月抽籤告報

1°. 11744
2°. 19970
3°. 03764
4°. 17450
5°. 05954

アリアンサ・ダ・バイア貯蓄銀行
日本人部

CASA RAMBALDI

……本店……
Rua da Liberdade, 472 Tel. 2-1424
……支店……
A ITALO BRASILEIRA
R. Quint. Bocayuba, 74 Tel. 2-7091

家具及絨氈

室、食堂用其他近代型家具寢具一切客間用極上絨氈日本人に一番信用ある店

のスナービンカ
館旅戸長
Rua Costa Aguias. 422
CAMPINAS

ガレリア・ドス・プレゼンテス
HENRIQUE BARBERI
▶時計修繕◀
時計（スイス製上等）、寶石類、眼鏡
齒科醫器具一式、贈答品
ラジオ並に冷藏庫（ウエスチングハウス製）等現金又は月賦販賣
プルデンテ・モラエス街7-A電話二四一一
マリリア市

KANAKAO S/A

中尾肥料店改め

御送金の節は銀行手形若くはバレー確實迅速です、コンバロールは最も取引上不便で時間をとり發送が遅れます

Caixa Postal. 2186 - Tel. 8-2587
Rua Butantan, 2 - S. Paulo

サンパウロ驛發送値段倉庫渡しは割引あり

骨粉（工場特製品）	硫酸	過燐酸	硫酸加里
智利硝石	硫酸アルコドン	硫酸アンモニア	硫酸加里
野菜用	野菜用	野菜用	野菜用
トマテ用	トマテ用	トマテ用	トマテ用
バタタ用	バタタ用	バタタ用	バタタ用
A印	B印	C印	D印
一トン當り三五〇、〇〇〇	同三七〇、〇〇〇	同三九〇、〇〇〇	同四〇〇、〇〇〇
基肥印	基肥印	基肥印	基肥印
三要素含有率一割	同三五〇、〇〇〇	同三七〇、〇〇〇	同三九〇、〇〇〇
窒素	同三五〇、〇〇〇	同三七〇、〇〇〇	同三九〇、〇〇〇
燐酸	同三五〇、〇〇〇	同三七〇、〇〇〇	同三九〇、〇〇〇
加里	同三五〇、〇〇〇	同三七〇、〇〇〇	同三九〇、〇〇〇

リーデル建築債券會社

（聯邦政府認可監督）
各主要都市に代理店あり

銀行部

社長 ドットル・フランシスコ・ムニョース・フイリヨー
本社 聖市ルア・サンベント三九番二階
電話三・三二五五番 郵函九三八

◎當社の抽籤は毎月の最終土曜日のロテリヤ・フエデラールにより行れます
◎僅か月五$〇〇〇又は一〇$〇〇〇の出費で毎月五〇コントス、三〇コントス、二〇コントス、一〇コントス又は五コントス其の他多くのプレミオを獲得する事が出來ます
◎月掛はA組（五$〇〇〇）B組（一〇$〇〇〇）の二種あります
◎當社債券はロテリヤの一番から五番迄の數字の組合せによつて當籤を見るのですから比較的當籤率が多いわけです
◎リーデル債券は聯邦政府認可監督の下に業務を執行して居りますから絶對確實最大の嚴正であります
◎毎月知らず〳〵の間に掛金は積立てられ、プレミオ獲得には率がよいからと言ふ樂みがありますから此の際奮つて御加入あらん事を御奬め致します
◎當社には日本人部がありますから日本文の御照會で御用が足ります
目下各線を外交員が巡廻して居りますから宜しく願ひます

リーデル建築債券會社
日本人部
郵函『九三八』

眞面目な青年數名募集します、希望者は直接當日本人部に御照會下さい